



スーパー教師に 授業の工夫学ぶ

宮崎市で講座

県内教職員200人

題字: 島田 美音さん
(宮崎第一中3年)



県教委と宮崎市教委は県内のスーパーティーチャー（ST）15人を講師に迎えた授業づくりセミナーを、同市の宮崎公立大で開いた。県内各地の教職員約2

スーパーティーチャーによる授業を学ぶ教職員ら

00人が、授業に生かせる指導の工夫などを学んだ。教職員の指導力向上などを目的に3日開催。STによるトークセッション後、小学校の国語や算数、中学校の英語、特別支援教育など全15講座を開講。参加者は生徒役となって受講した。

このうち、中学校英語の講座では、STの遠目塚由美教諭（宮崎市・東大宮中）が、英語での会話を続けるための受け答えの「型」を示す指導法を紹介。「英語が苦手な子が置いていかれていないかどうか、授業の盛り上がりを分ける」と強調した。

遠目塚教諭は「指導者がコミュニケーションを楽しめば、子どもたちも自然に楽しめると思う」と助言。えびの市・上江中の濱島巧成教諭（28）は「何を話せばいいかわからない生徒にも、『型』を示せば取り組みやすくなる。早速試したい」と話していた。

（川畑周平）